

寄稿

「懸案事業実現へ、心ひとつに」

小田原市長 加藤 憲一

長年「三大懸案事業」と言われてきた、地下街・お城通り地区再開発・芸術文化創造センターの各事業が、今年からいよいよ実現の局面に入ります。市民や専門家からなる「まちづくり検討委員会」からの提言を踏まえ、各関係者と幾重にも議論を重ね、手続きを丁寧

に踏み、財源確保に最大限の努力を払って、ようやく実施段階にたどり着きました。

地下街は今年11月にグランドオープンをお城通り地区は26年度中に(仮称)市民活動交流センターと駐車棟の整備を、芸術文化創造センターは基本設計がまもなく終了し26年度の実施設計を経て建設、28年

度の竣工を目指します。市民生活を取り巻く課題は山積しており、加えて自治体財政は依然厳しい状況の中、これら大型事業に「投資」するのは、それによる地域経済や市民活動の活発化、交流人口の拡大、市民力や文化力の向上を通じ、都市としての活力と魅力の大幅な向上という「成果」が長期的に得られると確信するからです。



かとうけんいち
1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現任小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

なお、事業遂行の財源は、昨年3月に神奈川県内初の認定を受けた「中心市街地活性化基本計画」への位置づけ等により、28年度までに実施という条件のもと、国から事業費の3分の1程度の

私が変わる・小田原が変わる

おだわらを拓く力
(加藤けんいち後援会)

小田原市栄町2-13-1-2F
TEL.0465-21-5260
(月・水・金 10:00~17:00)
<http://www.katoken.info>